

南部忠平杯第39回くらし女子駅伝競走大会
開催要項

- 主催 倉吉市、一般財団法人鳥取陸上競技協会、新日本海新聞社
- 特別協賛 バルコス
- 協賛 ミズノ、JA鳥取中央、大塚製薬
- 後援 鳥取県、鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、鳥取県町村会、鳥取県中部町村会、鳥取県スポーツ協会、鳥取看護大学、鳥取短期大学、鳥取県高等学校体育連盟、倉吉商工会議所、鳥取県経済同友会、倉吉青年会議所、鳥取県観光連盟、倉吉市ホテル旅館組合、はわい温泉・東郷温泉旅館組合、三朝温泉旅館協同組合、関金温泉振興組合、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、エフエム山陰、鳥取中央有線放送、日本海ケーブルネットワーク（予定）
- 協力団体 鳥取県警察本部、倉吉警察署、倉吉市体育協会、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、鳥取県中部総合事務所県土整備局、倉吉・湯梨浜交通安全指導員連絡協議会、倉吉市スポーツ推進委員協議会、鳥取県中部医師会
1. 日時 2024年10月13日（日）午前10時スタート
2. 監督会議 10月12日（土）午後2時～
会場：エスパック未来中心・セミナールーム3（倉吉未来中心）（倉吉市駄経寺町212-5）
※監督会議受付でアスリートビブスを配布するので、必ず出席すること
※オーダー変更がある場合は、変更用紙（受付時に配布）に記入すること
※「日本海駅伝」と同時開催
3. 開会式 10月12日（土）午後3時～
会場：エスパック未来中心・大ホール（倉吉市駄経寺町212-5）
※「日本海駅伝」と同時開催
4. 閉会式 10月13日（日）午後0時30分～
会場：倉吉市営陸上競技場 本部テント前 ※「日本海駅伝」とは別に行う
5. コース 倉吉市営陸上競技場付設 倉吉打吹・東郷湖畔コース

(倉吉市営陸上競技場を発着点とし、湯梨浜町上浅津付近折り返しの 21.0975km)

6. 距離・区 5区間 (計21.0975km)

間	1区	6km	倉吉市営陸上競技場—倉吉ほっとプラザ前
	2区	4.0975km	倉吉ほっとプラザ前—湯梨浜町・ゆりはま大平園前
	3区	3km	ゆりはま大平園前—(碁・将棋はわい会館付近折り返し) —湯梨浜町・めぐみのゆ公園付近
	4区	3km	めぐみのゆ公園前—倉吉市・金毘羅院駐車場前
	5区	5km	金毘羅院駐車場前—倉吉市営陸上競技場

7. 部 門 高校総合の部・県内高校の部の2部門

8. 参加資格 ※原則、日本陸連に登録しているチーム

- ①各高校に在籍するもの(高専は3年生まで)
- ②出発後1時間30分以内で完走できるチーム(県内高校は除く)

9. チーム 1チーム監督1名、選手10名の登録とする

※参加チームは各高校2チームまでとする

10. 競技規則 ①2024年度日本陸上競技連盟規則に準じて行う

- ②伴走車は一切認めない
- ③アスリートビブスの番号は主催者が指定。タスキは主催者側で準備したものを使用する
- ④競技運営上、最終区(第4中継所)で午前11時05分を目安に繰り上げスタートを行う
- ⑤外国人留学生の参加については2名以内とし、出場については3区または4区の1名とする

11. 参加費 1チーム 18,000円(消費税込み・申し込みと同時に納入すること)

※自然災害、事件、事故、疫病の流行等で大会が中止となった場合、参加料は返還しない

12. 表彰 【高校総合の部】

- ・優勝 …………… カップ(持ち回り)、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・3位 …………… トロフィー、メダル、賞状、副賞
- ・区間賞 …………… メダル、賞状、副賞
- ・優勝監督賞 ……… 盾

【県内高校の部】

- ・優勝 …………… カップ（持ち回り）、メダル、賞状、副賞
- ・2位 …………… 賞状、副賞
- ・3位 …………… 賞状、副賞
- ・区間賞 …………… 賞状、副賞

13. 参加申し込み、及び締め切り日

提出書類	申込期日	提出方法
① 参加申込書	2024年8月26日（月） 午後5時まで（必着）	電子メールのみ
② 参加料振込		所定の郵便振替用紙を利用（振込手数料無料）または所定の郵便口座へ振り込む 加入者名：㈱新日本海新聞社 口座番号 01470-7-8099
③ 弁当申込書	2024年8月26日（月） ※最終変更は10月4日（金）	電子メールのみ
④ 宿泊申込	2024年8月26日（月）	インターネット ※詳細は14.宿泊を参照
⑤ オーダー表	2024年9月25日（水）	電子メールのみ
⑥ 参加承諾書・健康診断書 （所属高等学校長、監督、学校医の押印が必要）		なるべく事前に郵送もしくは電子メールにて提出
⑦ 最終オーダー表 （⑤のオーダー表から変更のあるチームのみ）	2024年10月12日（土） 午後4時まで	10月12日監督会議受付時に提出

<注意事項>

申込期日は必ず厳守してください。大会不参加の場合、参加料の返金はいりません。必要事項の未記入など、提出書類に不備がある場合、再提出を求める場合があります。

申し込み先（宿泊申し込みを除く）

682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局

TEL 0858(26)8340 FAX 0858(26)8310 E-mail k-jigy@nnn.co.jp

※大会要項、参加申込書等は駅伝ホームページからダウンロードできます。

<https://www2.nnn.co.jp/event/kurayosi/> ※7月19日（金）～

14. 宿 泊 宿泊斡旋を希望する場合は、資料を参考にインターネットで申し込む
- 宿泊設定期間 = 10月11日（金）～10月12日（土）の2日間
 - 宿泊申込方法 = インターネット申込のみ
 - 宿 泊 代 金 = 1人 8,800円～14,300円（施設ランクや宿泊内容等の条件により変動）
 - 宿泊申込期間 = 7月17日（水）10:00～8月26日（月）17:59まで
- ※詳細は別紙ご確認ください

◎宿泊斡旋申込フォームURL

<https://secure.com-jtb.jp/ekiden2024>

宿泊斡旋に係わる問い合わせ

(株)JTB鳥取支店「日本海駅伝・くらよし女子駅伝競走大会」宿泊斡旋デスク
〒680-0824 鳥取県鳥取市行徳1丁目205 営業時間=9:30～17:30 休業日=土・日・祝日
TEL 0857-22-8851 FAX 0857-24-7228 E-mail tori-taikai@jtb.com

15. 昼 食 大会当日の昼食（弁当）が必要であれば主催者で準備する。同封の用紙で申し込むこと
一個 700円（税込み、お茶付）
※大会当日、陸上競技場で弁当と引き換えに代金を清算する

16. 選手輸 大会当日、全選手の配置と収容は、主催者が用意するバスで行うので必ず乗車すること
送 招集時間等については監督会議で説明する
集合時間等はプログラムに記載する

17. その他 ①参加者は、各チームおよび個人の責任において健康管理を行うこと
②競技中の事故について、主催者側は応急処置のみ行うが、以後の処置については各チー

大会に関するお問い合わせ

〒682-8505 鳥取県倉吉市上井町1丁目156 新日本海新聞社中部本社内駅伝事務局
TEL 0858(26)8340 FAX 0858(26)8310 E-mail: lk-jigyo@nnn.co.jp
大会ホームページで今大会の情報、過去大会の様子もご覧いただけます
<https://www2.nnn.co.jp/event/ekiden/>

運営細目および監督・選手に対する注意事項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準および本大会規定による

1. 出場選手について

(1) 第1区走者より第5区走者のオーダー表を前もって提出し、最終変更のみを監督会議受付時に提出すること。なお、A、B2チームが出場する場合は、AからB、BからAの変更も認める。

(2) 監督会議後の選手変更は病気、ケガ等不慮の場合のみ、同一チームの補欠をその区間の交代として補充できる(チーム受付・選手変更届を大会当日午前7時00分～7時30分の間に大会本部受付に提出すること)

(3) 外国人留学生の参加については2名以内とし、出場については3区または4区の1名とする

2. 競技について

(1) 選手が走る走路について全線交通規制を実施する

(2) 選手は道路の中央線より左側を走らなければならない。右折交差点では誘導ライン(カラーコーン)より右に出るはならない。また中継所において、タスキを渡し終わった選手は速やかに左側へよること

(3) 引き継ぎはタスキを用いる。タスキは第1区走者の第1次点呼(朝の受付時)に渡す。タスキは肩から斜めわき下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前約400m、引き継ぎ後約200mは手に持って走ってよいが、できるだけ早く肩にかけること

(4) スリートピブスは1人に2枚(区間番号入り)配布するので、ユニフォームの胸、背部にそのまま確実に着けること

※アスリートピブスについているチップ(記録計測器)は、競技終了後に中継所で回収する。チップを紛失した場合は、実費負担を求める

(5) 車および人による伴走、飲食物補給その他、走者への援助を行うことは出来ない。伴走およびこれに類する行為があった場合は失格の対象となる

(6) 第1区走者の出発時のコース順等は、監督会議までに大会事務局で決める

(7) 出発に当たっては、10分前、5分前、1分前、30秒前をそれぞれ通告し、『用意』は呼ばず、「10秒前」と呼ぶ。出発合図はピストルを用いる。第1区走者は5分前にスタート地点に並び、少なくとも2分前に競技服装となる。スタートはウォーキングスタートとする

(8) 第4中継所(金毘羅院駐車場)で午前11時5分を目安に繰り上げスタートを行う。その際に、繰り上げ走者は赤いタスキをつけてスタートする

(9) レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から最終順位の走者と一緒に次走者を出発させる。その場合、総合記録は認められないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める

(10) 各区間とも「中間点」「あと1km地点」の標示を出す。(3kmは中間点のみ)

(1 1) レース中に生じた事故について、主催者は応急処置のみを行う

(1 2) レース中の選手に対する給水所は設けない。

3. 選手の招集、輸送について

(1) 最終点呼は現地（各中継所）で行うが、応じない場合は失格とする場合がある

(2) 選手は、中継所到着後からスタートまで時間があるので、中継所役員の指導によりウォーミングアップを行うこと。また、走り終わった選手は収容バスに遅れないよう乗車すること。なお、選手の安全についてはあらかじめ指導しておきたい

(3) 選手の荷物は輸送しないので、次走者のものを着用する等、各チームで対応すること（貴重品等の管理は各チームで行うこと）

(4) 輸送バスの招集時刻および、選手の輸送計画はプログラムに記載する

4. 試走について

(1) 必ず交通ルールを遵守すること。特に「信号無視」、「車道走行」は厳禁。地域住民に迷惑がかかる行為は控えること

(2) 夜間、早朝は、安全タスキなどの反射材を着用することが望ましい

5. 大会当日の交通マナーについて

(1) コース上やその周辺道路への駐車、長時間の停車、無理な追い越しは行わない

※チーム関係者や応援者などへの周知徹底を。事故が起これば、大会が開催できなくなる場合がある